

## WRO JAPAN 2020 R-Sports Challenge

# Free Throw Challenge

## フリースローチャレンジ

※ R-Sports Challenge 共通ルールも必ず読んでおくこと

### 1. はじめに

WRO JAPAN 2020 R-Sports Challenge (Robotics Sports Challenge) は、ロボットに関心のある方が、自分たちの持っている知識と技術を活用し、オリンピック競技をまねたミッションをクリアするための自律型ロボットを製作し、インターネット上で映像などを用いてその成果を発表するものです。これによって、日ごろから学習しているロボットのハードウェアやソフトウェアの知識と技術を発揮することができるだけでなく、他のロボットの動作や機構を見て、さらにその能力を向上させることもできると期待しています。

### 2. ミッション

自律型ロボットを起動させ、ロボットが一定距離以上離れたところに設置されたゴールにピンポン球を入れる。

### 3. ルール

- ① フリースローラインとゴールとの間隔は 1000mm 以上とする (図 1)。
- ② ロボットは、床面に設置する。
- ③ 競技開始前、ロボット全体は、フリースローラインから出てはいけない (ケーブルは含まない)。
- ④ 競技中、ロボットの床面との接地面がフリースローラインから出てはいけない。
- ⑤ ロボットは、スタート後、変形してもよい。
- ⑥ ゴールは、2 リットル以内のペットボトルで作成する。
- ⑦ ゴールは、ロボットを置いた床面と同じ床面に置く。
- ⑧ ゴールの口は床面と平行であること。
- ⑨ ゴールとするペットボトルの形状は問わない。
- ⑩ ピンポン球の直径は 40mm である。
- ⑪ スタート前にピンポン球をロボットに載せた後、そのピンポン球を手で触れてはいけない。

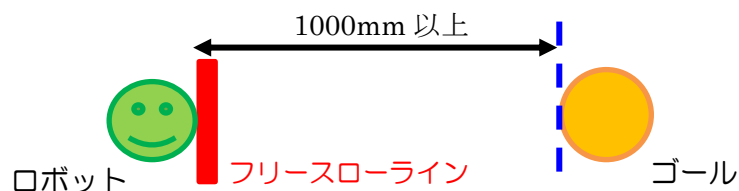


図 1 ゴールとロボットの位置